木内（きうち）としゆき後援会報

討議資料　第2号

木内としゆきは活力みなぎる市政を必ず取り戻します。

■ 急激に悪化した神栖市の財政

豊かな神栖市を必ず取り戻します。

健全財政とは言っていられない事実とは、**経常収支比率**が平成30年（79.7%）から令和５年（94.1%）に**14.4%上昇**し、鹿行地域においても５番目、茨城県内44市町村の中で神栖市は31位という状況にあります。

なりふり構わずお金を使っていては、近い将来神栖市も間違えなく財政破綻に陥ります。

限りある大切なお金（税金）を有効的に使ってこそ健全財政と言えます。

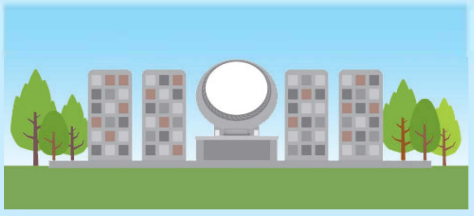
行政のキャプテンは、将来に備えて、いざという時に使えるお金を蓄えておくことが使命で、過去をかえりみず、「自分だけが英雄気取り」と思わせる考え方は、間違いなくNO！

行政は「市民から預かった大切なお金（税金）を精査し有効活用」を行います。

- 神栖市公共施設等総合管理計画を見直します。
- 神栖市の事業全般をゼロベースに見直し、効率的な事業執行を行ないます。
- 物を大切に、使えるものは直して使い、不必要なものは有効的な売却方法を考えます。
- 将来の施設更新や災害にも備える「攻めの貯金」を行います。
- 市民に見える財政運営、議会での監視強化も進めます。

「息栖にぎわいテラス」関連事業
総事業費：約10億円

「はさき保健・交流センター」関連事業
総事業費：約16億6千万円



市民サービスを削らず、市役所の内部改革を行こない財政の健全化を進めます。間違いなく令和13年度に最も厳しい財政状況に陥ります。箱物行政重視から**「今、何が求められるか（合葬墓の建設、体育館へのエアコン設置など）」**優先順位の見直しを行います。

令和７年度予算編成では、各部署に前年対比10%の予算削減指示が出されており、健全財政とは言い難い状況です。

よお～く、考えて見てください。予算が無ければ、災害発生時をはじめ魅力ある街づくりの構築はできません。

木内（きうち）としゆき後援会

〒314-0133 神栖市息栖 2885-245
TEL.0299-77-9611　FAX.0299-77-9612
E-mail: info@kiuchi-toshiyuki.com

木内としゆきは「やるやる」ではなく「やります」!

■ 改善の見られない地域医療

県と大学病院の信頼関係を図り地域医療の充実を取り戻します。

　これまで鹿島労災病院が土合地域から撤退し、神栖済生会病院が350床の計画で、地域医療の計画が託されました。しかしながら現在は170床、稼働数は現実的に50%に満たないのが現実です。

　地域医療とは、ただ単に個人開業医の医師を増やす事だけではありません。現状、医師が増えました。しかしながら、当市の医療現場から退職する医師も後を絶ちません。医師も安心して子育てができる環境など魅力ある街づくりが求められます。

　今は休日夜間に、いざ体調不良で病院へ駆け込むと、診療してもらえずに白十字総合病院や小山記念病院や県外の国保旭中央病院へ行くことになるのが現状です。

　いざという時に駆け込める中核病院を充実しなければ、本当の地域医療は言えません。医師確保同様に、看護師などの医療従事者の確保も必要不可欠です。そこで改めて県や医療機関との連携を再構築し、地域医療の充実を図ります。

●8年間止まっていた済生会新病院の建設を進めます。
●崩壊した小児科医療の再建に取り組みます。

■ 子供達の安全安心、健康長寿・楽しく長生き生活の実現を目指します。

安心できる教育環境、高齢者の福祉環境を取り戻します。

●高齢者の交通難民に対してより良い整備を行います。(現デマンドタクシー制度の改定)
●子どもたちが安心して遊べる場をつくります。
●夏の暑さを考慮した通学体制を整備します。
●学校教育の充実に力を入れます。
●子育て世代の皆さんの意見や民間保育園など受入れ側の意見もじっくり聴き、改善に努めます。
●盗難・詐欺などの犯罪抑止のために、地元警察と連携を図り各家庭における防犯カメラ設置補助の充実を図ります。
●高齢者が健康で、今以上に生きがいの持てるまちの実現に努めます。
●子どもからシニア世代まで、楽しく地域に根ざした健康スポーツイベントの実現に努めます。

■ 市民の皆様の命とくらし、雇用を守り抜きます!

神栖市の特性を生かし、地域の活性化を取り戻します。

市民の声をガッチリキャッチします!

●障がいのある人が安心できるまちづくりに努めます。
●災害に強いまちを構築していきます。
●農業・水産業など一次産業の後継者育成に努めます。
●市長自らがトップセールスを行ない、神栖市の特産品を売って売って売りまくります。
●税金を使う以上に、収入を増やす取り組みを実施していきます。
　「ふるさと納税」の納税額２０億円を目指します。
●新たな企業誘致の促進に努めます。
●全国に誇れるイベントの展開や大型ショッピングセンターの誘致を含め
　地域の商業活性化に取り組みます。
●物価高騰対策としての生活支援の実施に努めます。
●現在、不十分な部活動から地域スポーツへの移行充実に努めます。
●市内のボランティア団体との連携を図り、「福祉のまち」に
　ふさわしい街づくりに努めます。

現在、ＳＮＳで木内としゆき本人の素顔(プロフィールなど)がご覧いただけます。

●市政に対する、さまざまな情報を発信中!
お気軽に、ご意見・ご要望をお寄せください!

オフィシャルHP　facebook　X　instagram　LINE